

懐かしの巴里 (1928)

DIE LIEBE DER JEANNE NEY

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 ドイツ

色彩 B&W

初公開日 不明

【解説】

ソ連のイリヤ・エレンブルグの自作小説の脚色をG・W・パプストが演出した作品。いわゆる傾向映画もものした彼だが、ロシア革命を取り上げながらインターナショナルな犯罪メロドラマといった趣きで、革命に対する態度は曖昧（情情的に味方している程度）。フランス娘のジャンヌは革命のクリミヤで赤軍のため父を殺され、国外追放令で故郷のパリに戻り、私立探偵の叔父の家に寄宿し自活する。父殺害の張本人は彼女のモスクワ時代の恋人アンドレアスだったが、革命政府の特派員となった彼ともそこで再会。そこへ売国奴ハリビエフが身分を偽って現れ、叔父がアメリカの富豪が紛失した5万ドルの宝石を保管していると知って、彼を殺し、その罪をアンドレアスになすりつけようとする。だがジャンヌが奔走し、最後は真実が明るみに出、恋人たちのわだかまりも消える……。出だしの回想シーンや革命の描写に傑出した表現が見られるが、犯罪劇の部分はオーソドックス。しかし、ドイツ映画らしい、ねとっとした恐怖ムードは見もの。

【クレジット】

監督	G・W・パプスト	G.W. Pabst
原作	イリヤ・エレンブルグ	Ilja Ehrenburg
脚本	ルドルフ・レオンハルト	Rudolf Leonhardt
	ラディスラウス・ヴァホダ	Ladislav Vajda
音楽	ハンス・メイ	Hans May
	ベルント・テューズ	Bernd Thewes
出演	エディット・ジャンヌ	Édith Jéhanne
	アドルフ・E・リヒョウ	Adolf E. Licho
	ウノ・ヘンニング	Uno Henning
	ブリギッテ・ヘルム	Brigitte Helm